

澤村 KISAKI (妃)

和紙

衣料から雑貨まで

軽くソフト、多様な特徴

澤村は和紙を用いたテキスタイル「KISAKI」(妃)を開発、16年春夏物からレディース、メンズのファッション衣料だけでなくインテリアや雑貨まで幅広い市場への販売を開始する。

妃はすいた和紙を1~4ミリほどにスリットし、できあがったテープに撚りをかけて、フィラメント状態につくりあげた糸によるテキスタイル。糸の分子は構造は微細な多孔質のため、吸水拡散に優れ、肌離れが良く、側面がなめらかで、比較的均一に結合しているため、毛羽立ちが少ない。軽く、ソフトで天然の抗菌消臭効果があり、綿の2倍以上の強度を持ち、しわにもなりにくいなど多様な特徴をもつ糸。原料のマニラ麻は農薬を使用しない畑で産出され、原料からテキスタイル生産の過程でも環境、安全に配慮、エコテクス100の規格もクリア、乳幼児まで使用できる素材を完成させた。

同社は昨年、既に和紙100%での織物で布団シーツを開発、展開しているが、今回は、国内で数少ない経糸挿入のトリコット編み機で和紙が50%、70%の高混率によるポリエステルや綿との複合素材を開発した。複合化することで、質感の独自性を鮮明にするとともに、生産の安定も図った。プリントなどの後加工にも対応できる。仕立て栄えがよく、家庭での洗濯も可能だ。16年春夏では現在、40番手糸を中心に薄地から中肉素材まで6マークを開発、販売を開始した。

メンズやレディース、子供服のアウター、インナーアイテム、リラックスウエア、リビング、インテリアファッショングッズなど多彩な分野がフォローできる素材で、国内だけでなく、海外市場も視野に入れて拡販し、妃の定着を図っていく。